

# 「結婚相手に望む条件」とは?!

他人同士が、結婚を機に人生を共有し、家庭を築き、子育てをするためには、お互いの協力が不可欠です。20代30代の方は、結婚について、どのように思っているのか聞いてみました。

## ■結婚というイメージについて

**司会** 皆さんは結婚というと、どのようなことを思い浮かべますか。  
**今泉** 好きな人と一緒にいられるということ。良いことだと思つて。

**宮本** 家族っていいなと思つて。

**田中** 10代の頃は、結婚に対して夢



とか希望があったけど、いろんな友だちや周りをみていると何だか自由な気がする。今はまだ独身で、自由だと思つて。

## ■理想の相手の条件とは

**司会** もし、あなたが理想の相手を選ぶとしたらどのような方を選びますか。以前は、三高といって「背の高い人、高学歴、高収入」というのがありました。昔は「家付き、カー(車)付き、ババア抜き」っていう言葉がありました。車を持つていうのも条件の一つだったんですよ。今はみんな自分の車を持つていますが、既婚者は独身になつたつもりで考えて下さい。

**水尻** 空気の読める人がいいな。そして、笑いのツボが同じっていうか感性の同じ人がいいなと思つて。

**橋本** 自分の夢に向かつてがんばる人がいいな。僕も自分の夢があるし、お互いに自分の夢を大事にしていてくれる人がいいです。

## 出席者のみなさん



加賀さん  
(20代・未婚)



田中さん  
(20代・未婚)



今泉さん  
(30代・既婚)



司会 石倉伶子  
(ゆっパル編集委員)



橋本さん  
(20代・未婚)



水尻さん  
(20代・未婚)



宮本さん  
(30代・既婚)

**加賀** やっぱり収入があつて、生活が安定している方がいいです。私はお姑さんがいてもうまくやっていけると思っています。

**今泉** 価値観が同じで、育児や家事も協力的な人が良いかな。収入は高いよりはあつた方がいいです。

**宮本** 気が利く人、行動力がある人男を立ててくれる人が良い。

**司会** 男を立てるってどんなこと?

**宮本** 例えば子ども前で父親をバカにするようなことは嫌だ。ここはお父さんに華を持たせるとか……。

**田中** 私は考え方が合つ人。そして、信頼できる人がいいな。

## ■女性が結婚相手に望む条件は家事・育児の協力ができる人

**司会** 女性が結婚相手に望む重要な条件として、第1位が「人柄」、第2位が「家事・育児」、第3位が「仕事に対する理解」となつています。(3頁※1参照)

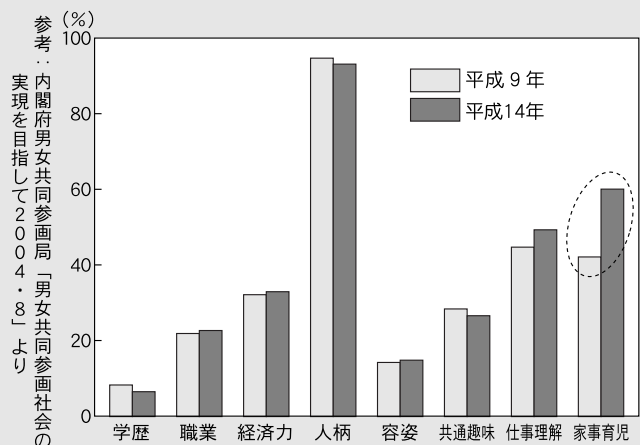
特に、「家事・育児」は前回に比べて、率が伸びています。このことについて、どう思いますか?

## 女性(※1)が望む結婚相手の条件

女性は、家事や育児への協力が結婚相手の条件として重視されています。

特に、「家事・育児に対する能力や姿勢」を挙げる人の割合は、前回調査より大きく向上してほぼ6割に達し、最多の「人柄」に次いでいます。

家庭での男女の役割分担の在り方と働き方は相互に影響を与えるものであり、男性の家事や育児への協力は、身近で重要な男女共同参画社会の実現のための第一歩でもあります。



**今泉** 今は働く女性が多くなつているので、当然といえば当然だと思つて。  
**宮本** 私は保育士なので育児が得意で同級生の奥さんには羨ましがられます。でも家事はちよつと……。  
**司会** 男性は家事・育児をするけれども手伝つてやるという補助的な意識が強いのではないのでしょうか。  
**橋本** 僕だったら積極的にやります！  
**司会** 20代の男性は家事・育児をすることに抵抗がないようですね。

**今泉** 今働いてる女性が多くなつているので、当然といえば当然だと思つて。  
**宮本** 私は保育士なので育児が得意で同級生の奥さんには羨ましがられます。でも家事はちよつと……。  
**司会** 男性は家事・育児をするけれども手伝つてやるという補助的な意識が強いのではないのでしょうか。  
**橋本** 僕だったら積極的にやります！  
**司会** 20代の男性は家事・育児をすることに抵抗がないようですね。

## ■家事・育児は誰の役割だと思えますか?

**今泉** できるだけ家事は自分でやると思つています。妻の役目だと思つてから。  
**田中** 親をみると、父はどしどし構えて母は「ソツソツ」やっていると。こういうものかなと思つていて。  
**司会** 「女性だから」という生活の中で育つてきているので、いつの間にか染まっているのかもかもしれませんね。

**司会** ありがとうございます。いま、それぞれの分野において、キャリアウーマンと呼ばれ、優れた能力を発揮し、活躍している人が増えてつあります。

専業主婦であっても家事・育児を一人で背負うのは大変なことですよ。仕事をしながら、一人で家事・育児を背負う自信がないとか、あるいは仕事が好きだから続けたいなど、出産はもろろん結婚をしない風潮にあるこの頃、夫婦、家庭、家族のあり方について、今一度考える時がきたのではないのでしょうか。

「女だから、男だから」ではなくお互いに人間として尊重し合い、協力することが、ごく当たり前のこととして、生活の中に浸透しつつあるようです。

## 40代50代に聞きました

女性が望む結婚相手の条件に「家事・育児に対する能力や姿勢」を挙げる傾向について、どう思いますか?

いくと思つて。

**40代男性** 女性も仕事をもち、同じ時間働いているので、家事・育児は男性もやらなければならないのは理解できる。一日20〜30分何か妻の手伝いをする時間を作れば夫婦円満になると思つて。

**50代女性** 時代の流れなので良いことだと思つて。

**50代女性** 男性が家事・育児に関わることは大いに良いことだと思つて。男女とも仕事をすることは良いけど、大人の力を必要とする子どもたちのために、誰かが必要。